

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	126	豊田市立 稲武中 学校	代表	山田 智章
------	-----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	広がれ！ 稲中生の夢と挑戦 サブテーマ ～地域に働きかけ、地域から意欲的に学ぶ生徒の育成～	分野 <small>(その他)は分野を右欄に記入</small>	b <small>(その他)は分野を右欄に記入</small>	地域連携
学校づくりの視点（ねらい）	<p>稻武地区は年々過疎化が進んでおり生徒も減少傾向であるため、保護者や地域の方は若者が減少していく稻武地区の将来に危機感を抱いている。また、学校に対して「地域を大切に思う子を育ててほしい」「地域住民として活躍できる子を育ててほしい」という願いが一層強くなっている。そこで、生徒が地域の方々と連携して、地域の伝統、文化や産業などを見つめ直し、故郷への愛着を深める活動を展開したいと考えた。本事業を通して、活力ある中学生の姿を地域に発信し、地域の活性化の一翼を担う学校を目指したい。</p> <p>1 地域の人、もの、自然と触れ合ったり、地域の伝統や芸能に親しんだりしながら、地域に開かれた学校、地域と共に歩む学校づくりを進める。地域の自然環境や伝統文化等にも詳しい校内整備員を活用することで、生徒の豊かな心を育む環境整備が充実する。また、ホームページによる発信活動も充実させることで、保護者の教育活動への理解や生徒の活動支援につなげる。</p> <p>2 小規模校のよさを生かした全校体制の活動を工夫するとともに、総合的な学習の時間を活用して3年間を通して地域について学ぶ「ふるさと学習」の取組を進める。地域の特色ある自然・産業・文化について、現地を訪問して交流しながら学んだり、地域のボランティア活動、親子ふるさと活動、稻武地域ならではの木材加工やスキー教室などを通じて、生徒が誇りと愛着を抱く学校づくりを進める。</p>			
活動内容・計画	<p>【活動内容】</p> <p>1 地域から学ぶ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を訪問し、自然・文化・産業などについて学ぶ活動（ふるさと学習） ・地域の人から学ぶ学習（ランプシェード作り、スキー教室） <p>2 地域へ発信する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園や小学校との交流、ボランティア活動 ・地域の福祉施設などの交流活動（中学校の活動紹介） <p>【活動計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月 各活動の組織・計画作成 5月 親子健康教育講演 6月 夏花壇づくり 7月 ランプシェード作り（2年生）、緑のカーテン設置 8月 地域でのボランティア活動（こども園・交流館・福祉センターなどに於いて） 10月 篠島中学校との交流活動（2年生）、稻光祭（文化祭）合唱、「稻武地区ふれあいまつり」（全校生徒）作品発表、ボランティア活動 11月 親子活動感謝の会 11月～12月 総合的な学習「癒しのハンドケア」活動（3年生） 1月 スキー教室（1・2年生） 2月 春花壇づくり、総合的な学習発表会、活動のまとめ ※ 年間を通して、取組をHPや通信で地域へ発信する 			
補助員配置	校内整備員			
実績・期待される効果	<p>1 課題追究力を高める生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に地域とかかわることで地域から学ぼうとする意欲を持続する。また、異学年とのグループ活動、全校での発表活動等、共働的な学びを取り入れ、探究力を高める。 <p>2 地域への愛着を深める生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稻武の文化、社会、自然に対する認識を豊かにし、地域への愛着を深める。また、地域の人々との交流から、人情に厚い地域のよさを実感する。 <p>3 自分に自信をもつ生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだこと・身に付けたことを発表する機会を設け、他者から認められる体験を通し、自信を高める。 <p>4 共働的な活動をする生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内外の学習の場に保護者や地域の方を講師として招き、地域ぐるみで学び合う。また、コミュニティスクールや地域諸団体との連携を図り、地域の方々との協働的な活動が展開できるように工夫する。 			
検証方法	<p>1 生徒の姿から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の変容していく姿を評価し、記録する。 ・生徒の感想記録から成果と課題を検証し、次の活動へ生かす。 <p>2 地域の方々の声から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師、参加者、交流した人々の感想記録から成果と課題を検証し、次年度へ生かす。 ・取組に対する地域の声を広く集め、活動のあり方を常に見つめ直す。 			